

平成23年度『基礎・基本定着状況調査』について 海田町立海田西小学校

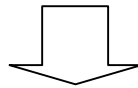
1 国語科調査結果（平均通過率）

	全体	領域別通過率			
		聞く	書く	読む	言語事項
西小	92.0	96.8	97.8	92.5	88.2
海田町	76.7	80.1	88.2	76.8	71.7
県	78.5	83.5	87.9	77.3	74.5

全設問中、平均通過率が全て74%を超えていることから、基礎的・基本的な学習内容は概ね定着していると考えられる。

【課題】

- 主語・述語の関係をとらえることが苦手である。
- 漢字の構成と漢字の読みの定着が不十分である。
- 説明文や物語文の学習で、順序や内容の大体をとらえることが苦手である。



【取組】

- 朝の会で、新聞記事の紹介スピーチや、テーマを設定したスピーチをする。
- 新出漢字学習後、短文作りをする。また、漢字の成り立ち、部首に触れた家庭学習を出す。
- 本を読み終わったあと、その本の紹介文を書く。また、説明文や物語文の学習の際、段落相互の関係を捉えたり、登場人物の心情や様子を考えたりして、内容理解を深める。

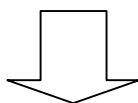
2 算数科調査結果（平均通過率）

	全体	領域別通過率			
		数と計算	量と測定	図形	数量関係
西小	82.3	86.7	68.8	71.0	95.4
海田町	77.8	82.4	67.5	70.7	85.4
県	77.8	81.7	65.2	74.3	86.0

全設問中80%の設問において、通過率が74%を超えていることから、基礎的・基本的な学習内容はほぼ定着していると考えられる。

【課題】

- 図形に関する学習の定着が不十分である。
- 筋道を立てて考え問題を解決することや、量や重さ面積など実感を伴う問題を解決することが苦手である。
- 文章問題の問題把握が苦手である。



【取組】

- 具体物を活用したり、操作的活動を一層取り入れたりする。
- 多様な考えを持てるような課題提示をしたり、自力解決の時間を確保しその後集団解決の場を持ったりして、多面的な見方、考え方ができるようにする。
- 問題把握をするときに、絵や図、表などを使って考える場をつくる。
- 『The Gaku』タイムを実施し、基礎基本の定着を図る。

3 基本的生活習慣（生活と学習の質問紙から）

【課題】

- 60%以上の児童が、毎日2時間以上ゲームやテレビに時間を費やし、睡眠不足や、家庭学習の時間が少なくなっていると考えられる。
- 宿題などの課題に対しては素直に取り組むが、自分で課題を見つけ計画的に取り組むところまでには意識が向いていない。

【取組】

- 宿題ウィークを設け、家庭との連携を図る。
- 『家庭学習の手引き』を活用し、ゲームやテレビの時間を読書や自主学習に変えていくよう指導する。

基本的生活習慣の確立には、保護者の皆様のご協力が必要です。海田町から配布されました『家での6つの約束』を守って生活できるよう、ご協力をお願いいたします。